山　梨　県
商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和８年７月～ ９月実績
令和８年10月～12月予測〕

未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目　　次

Ⅰ 調 査 要 領 …… 1

Ⅱ 景　　況

1. 産業全体の業況概観 …… 2

2. 製造業の動向

⑴ 景 況 概 観 …… 3

⑵ 主な項目で見る業況 …… 3

3. 建設業の動向

⑴ 景 況 概 観 …… 6

⑵ 主な項目で見る業況 …… 6

4. 小売業の動向

⑴ 景 況 概 観 …… 9

⑵ 主な項目で見る業況 …… 9

5. サービス業の動向

⑴ 景 況 概 観 …… 12

⑵ 主な項目で見る業況 …… 12

【Ⅰ】 調 査 要 領

1．調 査 対 象

⑴ 対象地区　19商工会　　⑵ 対象企業数　165企業　　⑶ 回答企業数　165企業

2．調査対象期間

第２四半期　　令和８年７月～９月期　「調査時点：令和８年８月19日」

3．調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4．調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製　造　業	建　設　業	小　売　業	サービス業	計
都　留　市	3	2	3	4	１２
山　梨　市	1	2	2	3	8
大　月　市	2	1	3	2	8
韮　崎　市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	１５
北　杜　市	4	2	5	4	１５
甲　斐　市	4	3	5	2	１４
笛　吹　市	3	2	4	6	１５
上野原市	2	1	2	2	7
甲　州　市	3	1	2	3	9
中　央　市	2	1	2	1	6
市川三郷町	2	1	1	2	6
身　延　町	1	1	2	2	6
南　部　町	1	0	1	1	3
富士川町	1	1	1	2	5
昭　和　町	1	1	3	3	8
西　桂　町	0	0	1	1	2
南都留中部	1	1	2	2	6
河　口　湖	1	1	6	5	１３
計	３７	２５	５０	５３	１６５

5．そ の 他

本報告書のＤＩとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

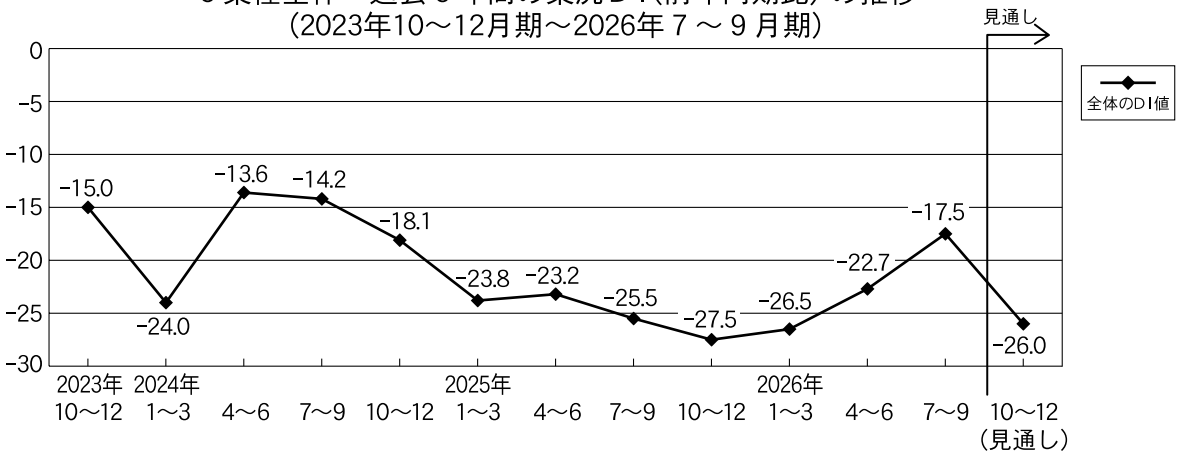
【Ⅱ】 景　　況

1. 産業全体の業況概観

本県における５業種全体の業況判断ＤＩ、及び、産業別の業況判断ＤＩについてみてみる。

まず、前年同期比でみた過去３年間の**５業種全体の業況判断ＤＩ**である。今期の業況判断ＤＩ（前年同期比）は▲17.5であり、前期調査での悪化見通しに反し、前期比で5.2ポイント改善している。しかし、来期については▲26.0へと悪化の見通しとなっている。

５業種全体　過去３年間の業況ＤＩ（前年同期比）の推移
（2023年10～12月期～2026年７～９月期）

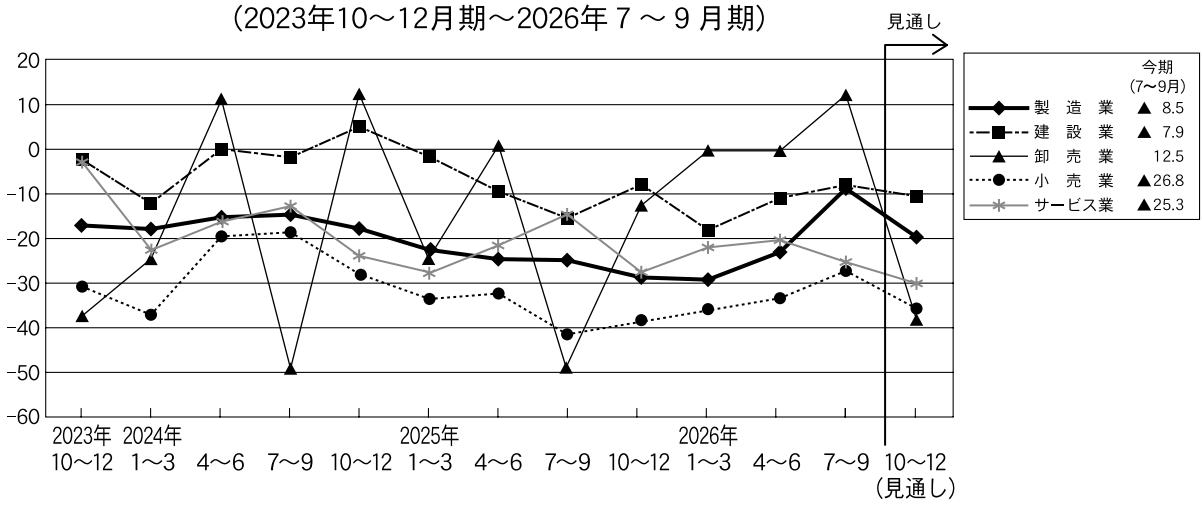


次に、前年同期比でみた過去３年間の**産業別の業況判断ＤＩ**である。

製造業は▲8.5で前期比+14.8ポイント、建設業が▲7.9で前期比+2.9ポイント、卸売業が+12.5で前期比+12.5ポイント、小売業が▲26.8で前期比+6.5ポイント、サービス業が▲25.3で前期比▲5.1ポイントであった。

来期は、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の全業種が悪化の見通しとなっている。

産業別　過去３年間の業況ＤＩ（前年同期比）の推移
（2023年10～12月期～2026年７～９月期）



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、**商工会調査対象165企業**に**甲府・富士吉田地域等からの101企業**を含めた**266サンプル**を使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況ＤＩについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

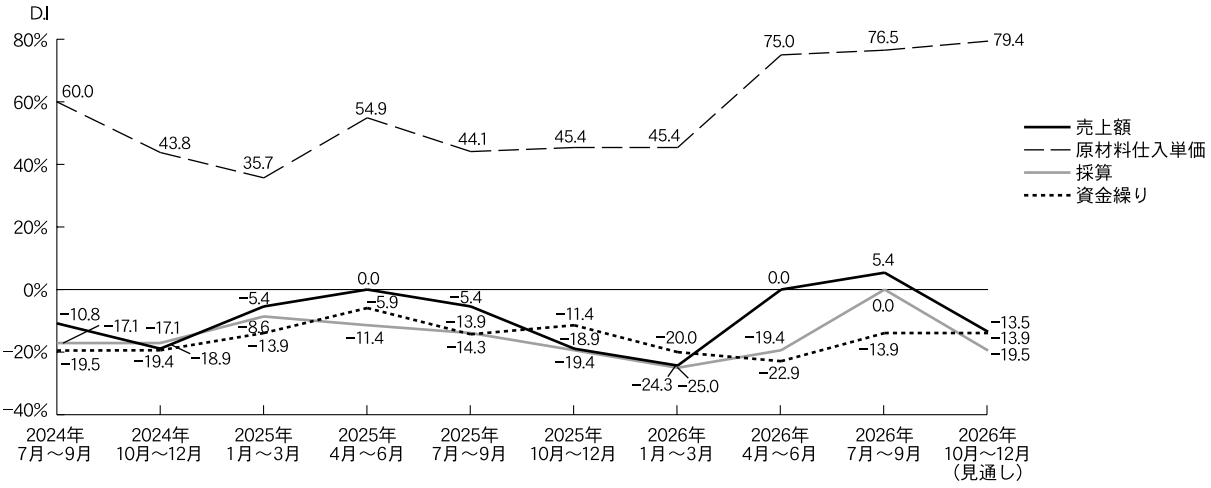
2. 製　造　業　の　動　向

（1）景　況　概　観

売上額ＤＩは、今期5.4と前期比で5.4ポイント改善したが、来期は▲13.5へ悪化の見通し。**原材料仕入単価ＤＩ**は、今期76.5と前期比で1.5ポイント上昇（悪化）し、来期も79.4へ上昇（悪化）の見通し。**採算ＤＩ**は、今期0.0と前期比で19.4ポイント改善したが、来期は▲19.5へ悪化の見通しである。**資金繰りＤＩ**は、今期▲13.9と前期比で9.0ポイント改善し、来期も▲13.9で今期と変化なしの見通しである。

今期は売上額ＤＩ、採算ＤＩ、資金繰りＤＩが改善し、原材料仕入単価ＤＩが悪化であった。来期は全てのＤＩが悪化の見通しである。

山梨県　製造業　　主要景況項目の推移－前年同期比－



（2）主な項目でみる業況

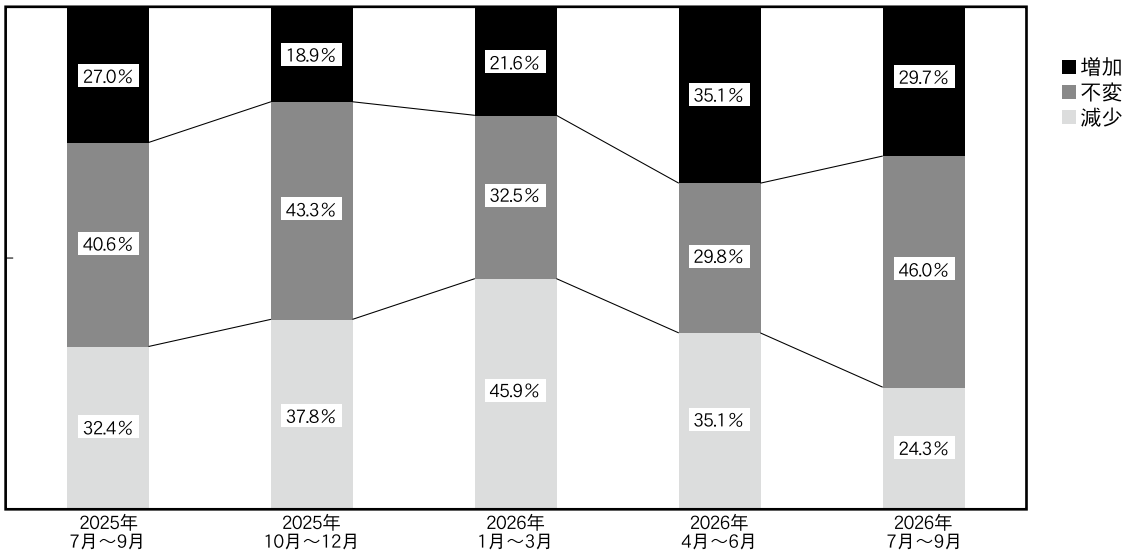
① 売上額（売上額ＤＩの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、29.7％（11社）に減少（前期比▲２社）している。

「不変」は46.0％（17社）に増加（前期比＋６社）し、

「減少」は24.3％（９社）に減少（前期比▲４社）している。

山梨県　製造業　　売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算ＤＩの内容（回答企業数36社））

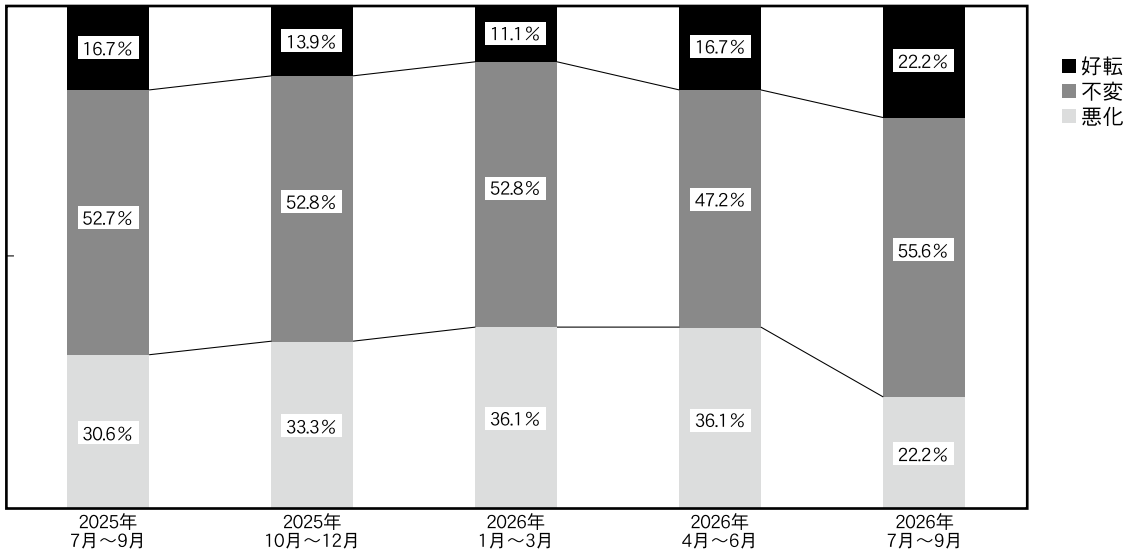
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、22.2％（８社）に増加（前期比＋２社）している。

「不変」は55.6％（20社）に増加（前期比＋３社）し、

「悪化」は22.2％（８社）に減少（前期比▲５社）している。

山梨県　製造業　　採算の状況－前年同期比－

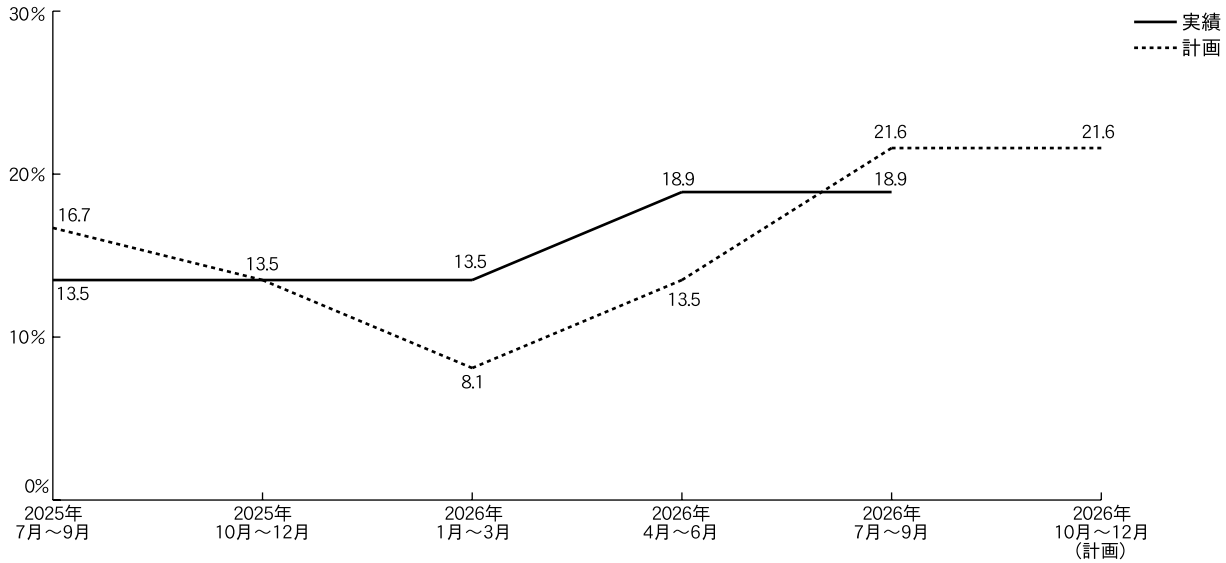


③ 設備投資（直近１年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.9％（７社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が４件、「車両・運搬具」が２件、「付帯施設」「ＯＡ機器」が１件ずつであった。

来期の計画については21.6％（８社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が７件、「ＯＡ機器」が３件、「工場建物」「付帯施設」が２件ずつ、「土地」が１件である。

山梨県　製造業　　設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数35社）

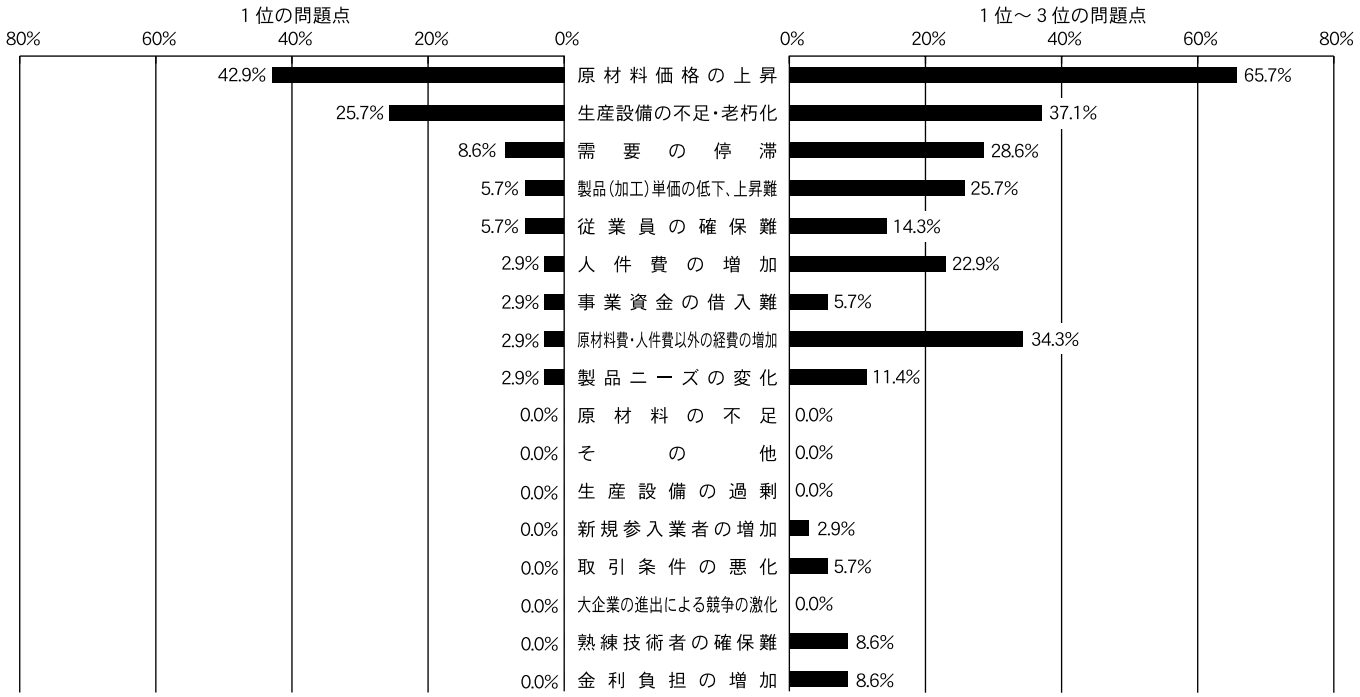
まず、経営上の問題点として、「１位」に挙げられたものからみていく。

１番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の42.9％（15社）であり、２番目は「生産設備の不足・老朽化」の25.7％（９社）であった。

次に、「１位～３位」に挙げられたものをみる。

１番目に多かったのは「原材料価格の上昇」の65.7％（23社）であり、２番目は「生産設備の不足・老朽化」の37.1％（13社）であった。

山梨県　製造業　　経営上の問題点



⑤　回答企業の内訳

業種別

業　　種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.2
金属製品製造業	4	10.8
一般機械器具製造業	12	32.4
電気機械器具製造業	2	5.4
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	6	16.2
合　　計	37	100.0

従業員規模別

雇用形態 ＼ 従業員数	常　雇　い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
２人以下	18	48.7	15	40.6
３人～５人以下	9	24.3	7	18.9
６人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
21人～50人以下	1	2.7	1	2.7
合　　計	37	100.0	37	100.0

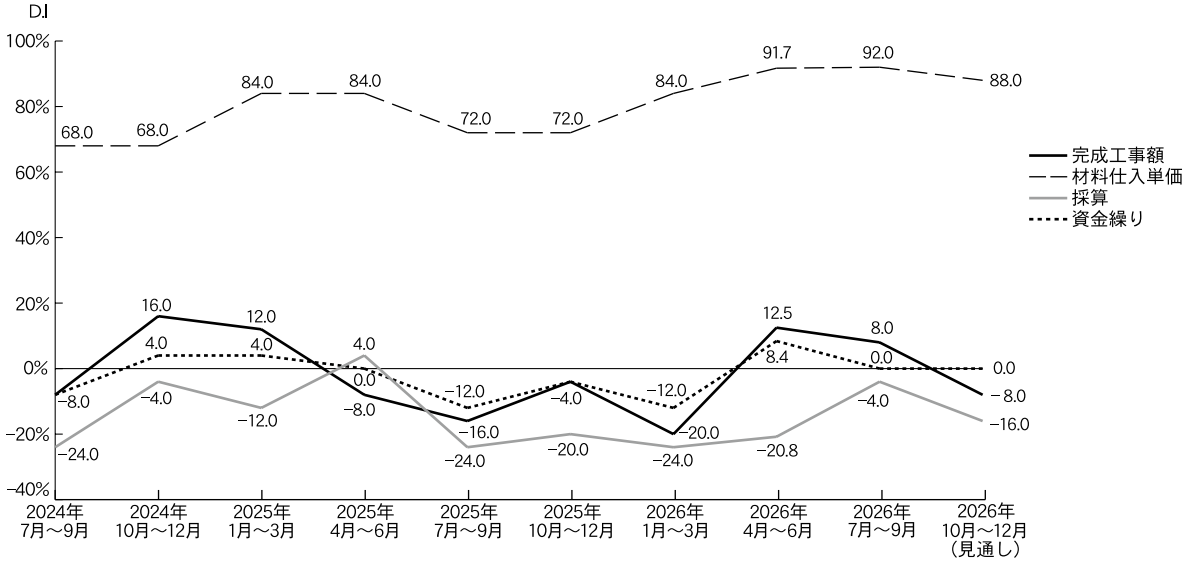
3. 建　設　業　の　動　向

（1）景　況　概　観

完成工事額ＤＩは、今期8.0と前期比で4.5ポイント悪化し、来期も▲8.0へ悪化の見通し。**材料仕入単価ＤＩ**は、今期92.0と前期比で0.3ポイント僅かに上昇（悪化）したが、来期は88.0へ下降（改善）の見通しである。**採算ＤＩ**は、今期▲4.0と前期比で16.8ポイント改善したが、来期は▲16.0へ悪化の見通し。**資金繰りＤＩ**は、今期0.0と前期比で8.4ポイント悪化し、来期も0.0で今期と変化なしの見通しである。

今期は採算ＤＩのみが改善し、完成工事額ＤＩ、材料仕入単価ＤＩ、資金繰りＤＩが悪化であった。来期は材料仕入単価ＤＩが改善の見通しであるが、資金繰りＤＩが変化なし、完成工事額ＤＩ、採算ＤＩが悪化の見通しである。

山梨県　建設業　　主要景況項目の推移－前年同期比－



（2）主な項目で見る業況

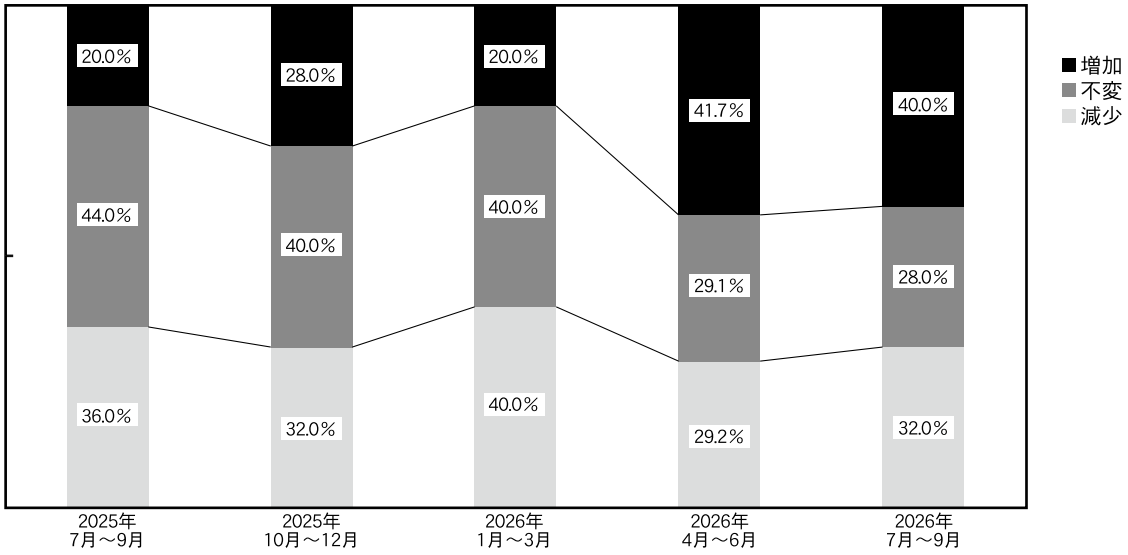
① 完成工事額（完成工事額ＤＩの内容（回答企業数25社（前回24社）））

「増加」と答えた企業の割合は、40.0％（10社）に減少（前期比▲０社）している。

「不変」は28.0％（７社）に減少（前期比で社数は±０社）し、

「減少」は32.0％（８社）に増加（前期比＋１社）している。

山梨県　建設業　　完成工事額の状況－前年同期比－



② 採算（採算ＤＩの内容（回答企業数25社（前回24社）））

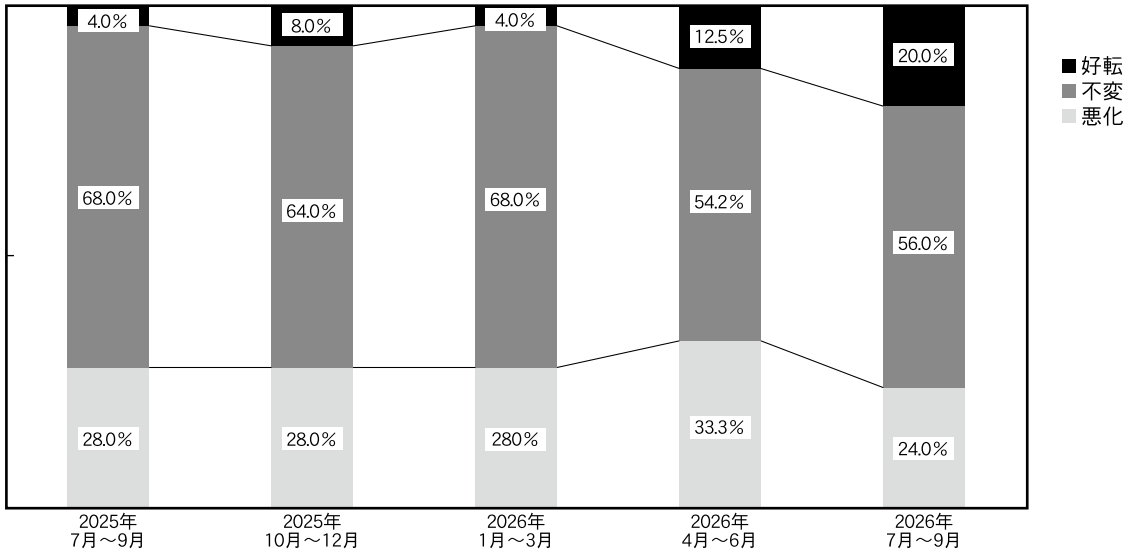
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、20.0％（５社）に増加（前期比＋２社）している。

「不変」は56.0％（14社）に増加（前期比＋１社）し、

「悪化」は24.0％（６社）に減少（前期比▲２社）している。

山梨県　建設業　　採算の状況－前年同期比－

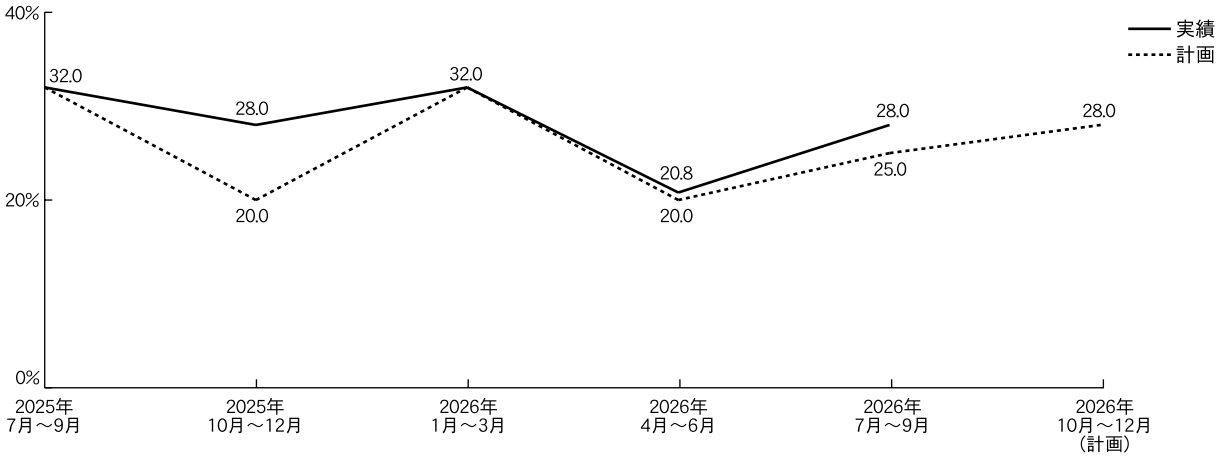


③ 設備投資（直近１年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は28.0％（７社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が４件、「建設機械」「付帯施設」「ＯＡ機器」が１件ずつであった。

来期の計画についても、28.0％（７社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「ＯＡ機器」が４件、「建設機械」「車両・運搬具」が３件ずつ、「土地」「建物」が１件ずつになる。

山梨県　建設業　　設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数23社）

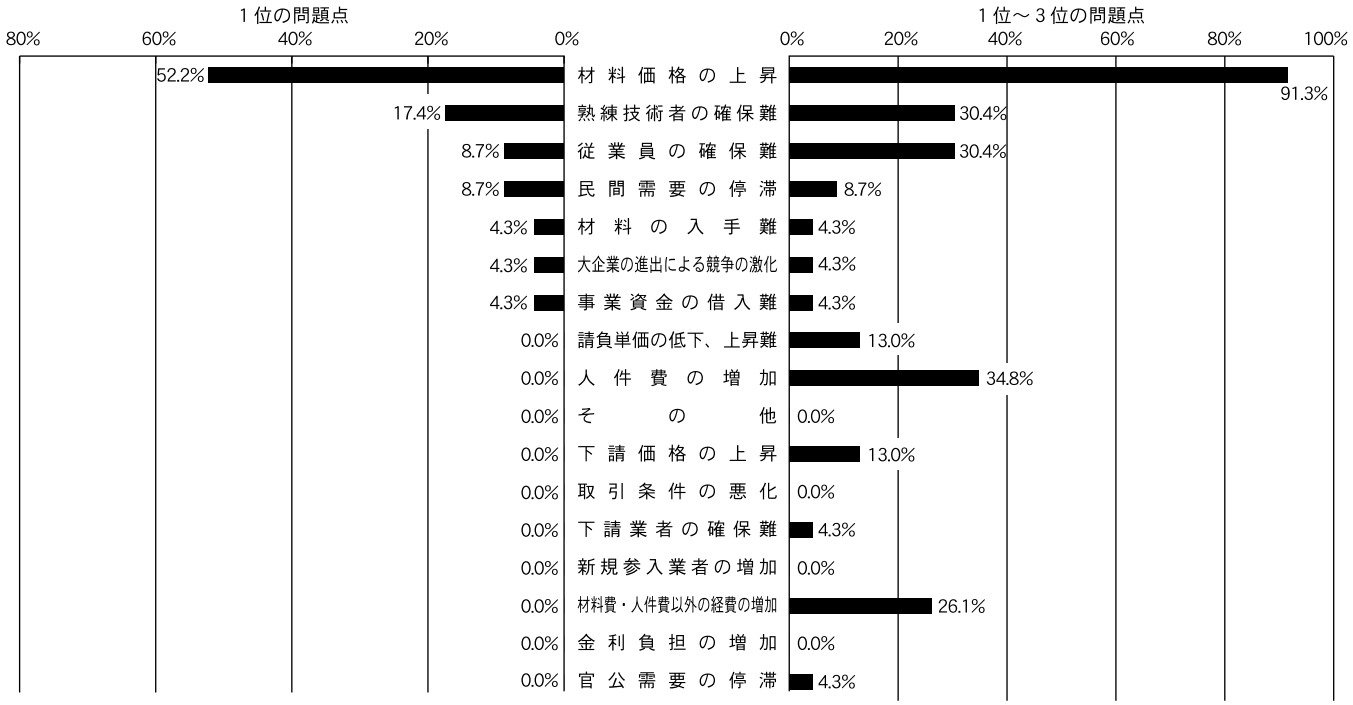
まず、経営上の問題点として、「１位」に挙げられたものからみていく。

１番目に多かったのは、「材料価格の上昇」の52.2％（12社）で、22期連続。２番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」の17.4％（４社）であった。

次に、「１位～３位」に挙げられたものをみる。

こちらも、１番目に多かったのは「材料価格の上昇」の91.3％（21社）であり、２番目に多かったのは「人件費の増加」の34.8％（８社）であった。

山梨県　建設業　　経営上の問題点



⑤　回答企業の内訳

業種別

業　　種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合　　計	25	100.0

従業員規模別

雇用形態 ＼ 従業員数	常　雇　い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
２人以下	8	32.0	7	28.0
３人～５人以下	5	20.0	6	24.0
６人～10人以下	7	28.0	7	28.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合　　計	25	100.0	25	100.0

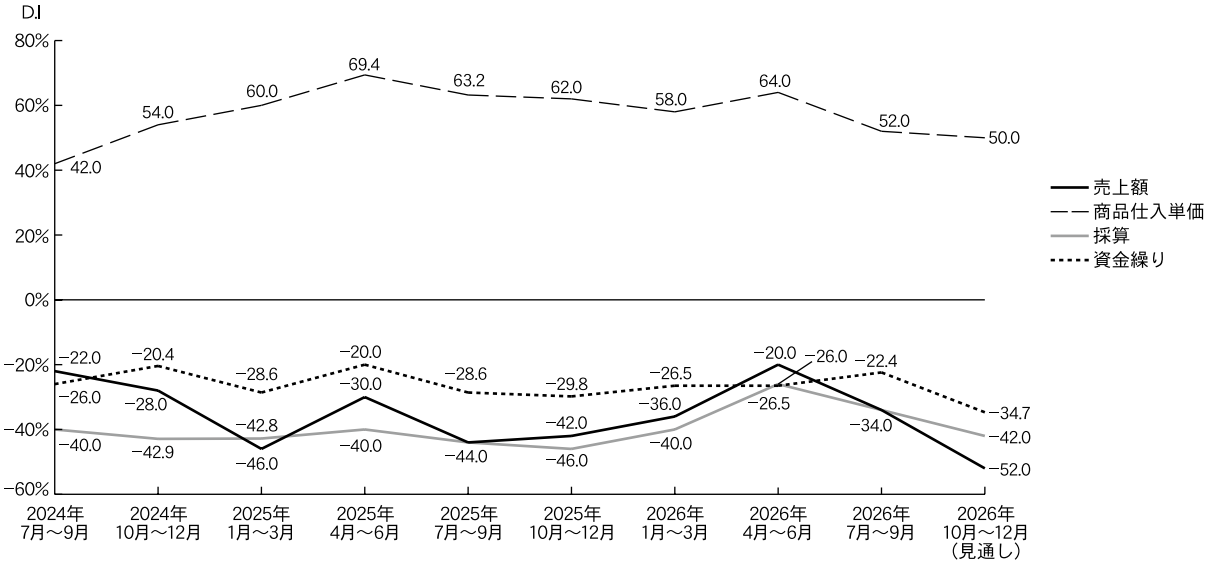
4. 小　売　業　の　動　向

（1）景　況　概　観

売上額ＤＩは、今期▲34.0と前期比で14.0ポイント悪化し、来期も更に▲52.0へ悪化の見通しである。**商品仕入単価ＤＩ**は、52.0と前期比で12.0ポイント下降（改善）し、来期は50.0へ下降（改善）の見通し。**採算ＤＩ**は、今期▲34.0と前期比で8.0ポイント悪化し、来期も▲42.0へ悪化の見通し。**資金繰りＤＩ**も、今期▲22.4と前期比で4.1ポイント改善し、来期も▲34.7へ悪化の見通しである。

今期は、商品仕入単価ＤＩ、資金繰りＤＩが改善、売上額ＤＩ、採算ＤＩが悪化した。来期は、商品仕入単価ＤＩが改善の見通しであるが、それ以外のＤＩは全て悪化の見通しである。

山梨県　小売業　　主要景況項目の推移－前年同期比－



（2）主な項目でみる業況

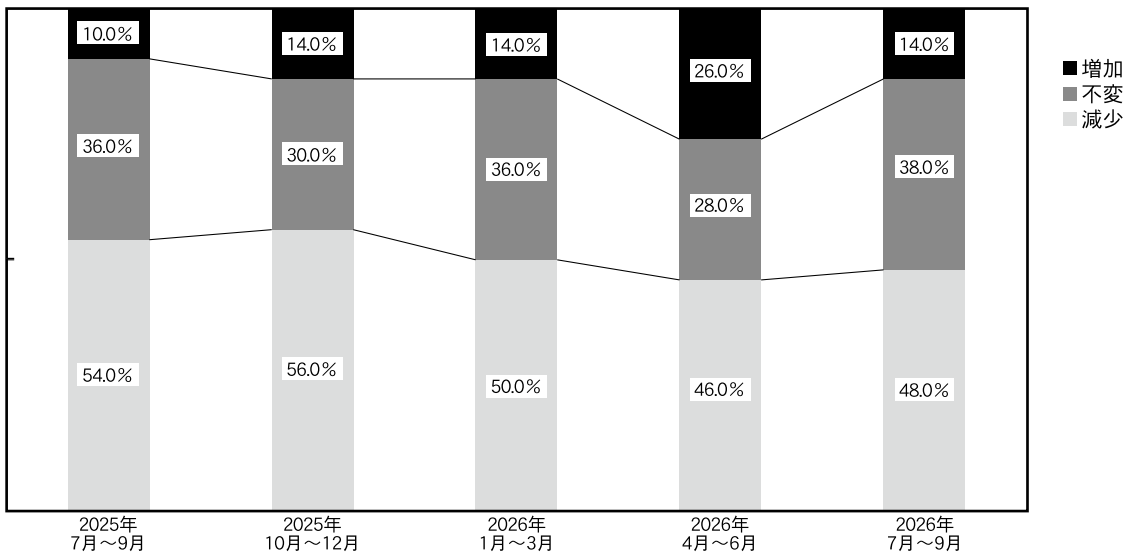
① 売上額（売上額ＤＩの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、14.0％（７社）に減少（前期比▲６社）している。

「不変」は38.0％（19社）に増加（前期比＋５社）し、

「減少」は48.0％（24社）に増加（前期比＋１社）している。

山梨県　小売業　　売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算ＤＩの内容（回答企業数50社））

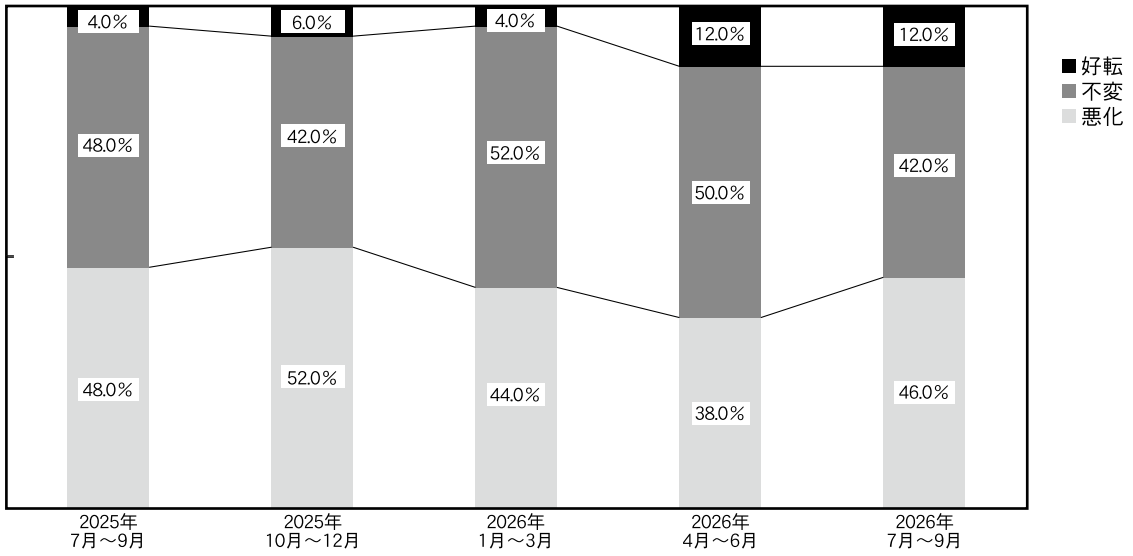
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0％（６社）で前回と変化なし。

「不変」は42.0％（21社）に減少（前期比▲４社）し、

「悪化」は46.0％（23社）に増加（前期比＋４社）している。

山梨県　小売業　　採算の状況－前年同期比－

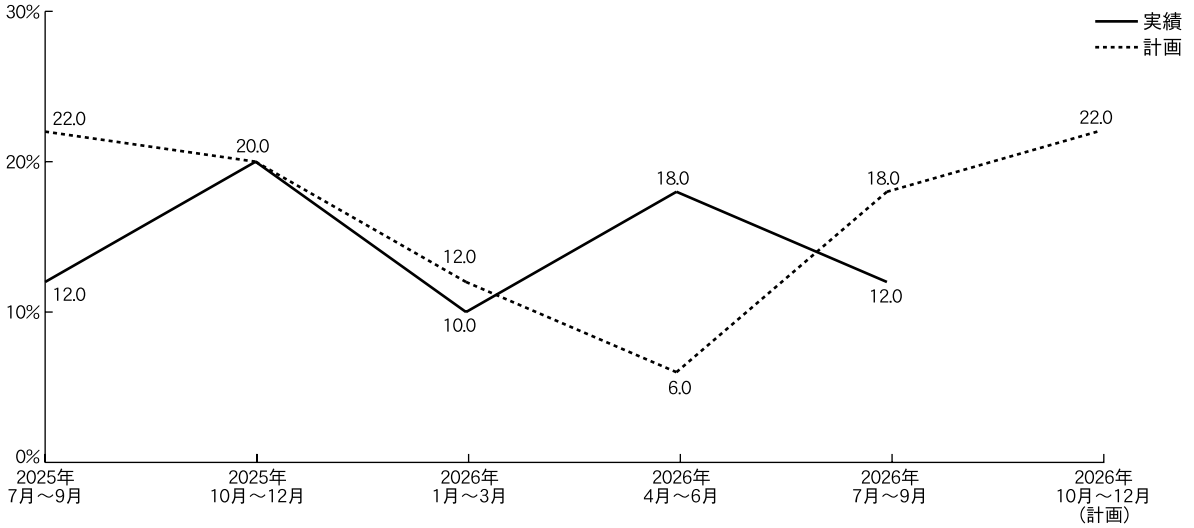


③ 設備投資（直近１年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は12.0％（６社）であった。その設備投資の内容は、「ＯＡ機器」が２件、「店舗」「車両・運搬具」「福利厚生施設」「その他」が１件ずつであった。

来期の計画については、22.0％（11社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が５件、「販売設備」が３件、「付帯施設」「ＯＡ機器」「その他」が２件ずつ、「土地」「店舗」「福利厚生施設」が１件ずつになる。

山梨県　小売業　　設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数44社）

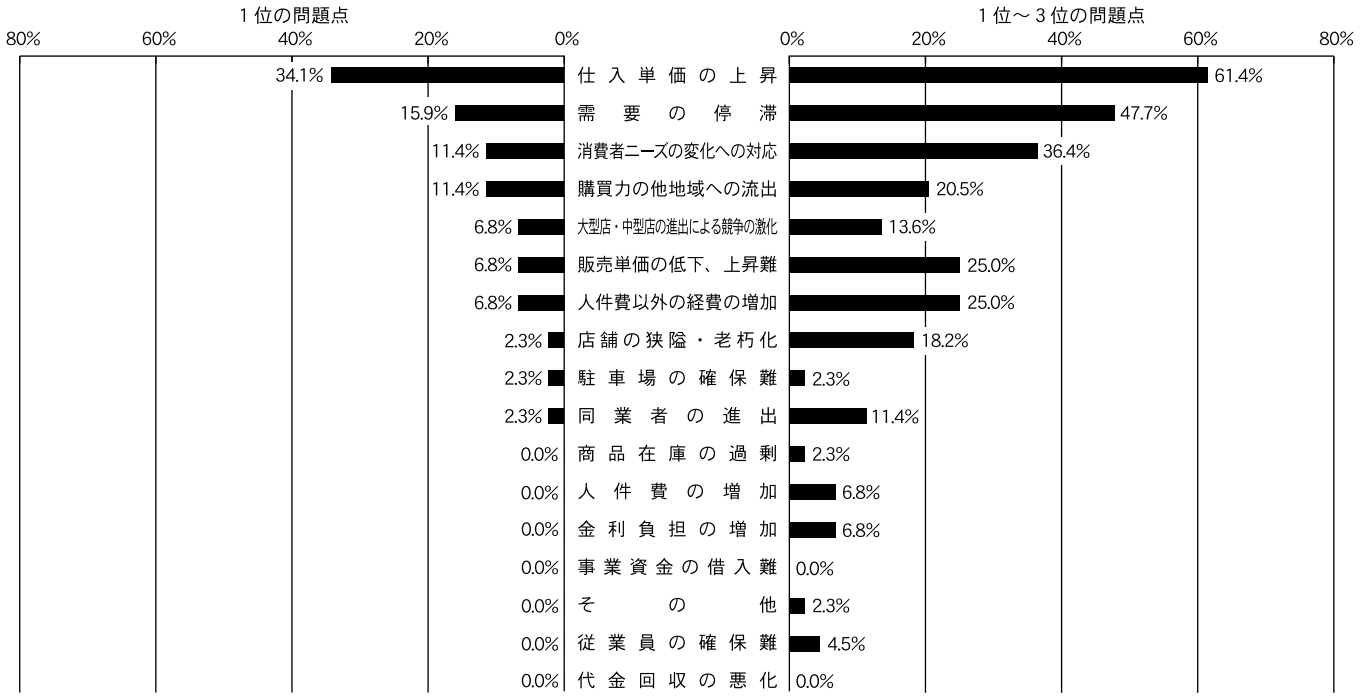
まず、経営上の問題点として、「１位」に挙げられたものからみていく。

１番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の34.1％（15社）であり、２番目は「需要の停滞」の15.9％（７社）であった。

次に、「１位～３位」に挙げられたものをみる。

こちらも、１番目に多かったのは「仕入単価の上昇」の61.4％（27社）であり、２番目も「需要の停滞」の47.7％（27社）であった。

山梨県　小売業　　経営上の問題点



⑤　回答企業の内訳

業種別

業　　種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食料品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合　　計	50	100.0

従業員規模別

雇用形態 ＼ 従業員数	常　雇　い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
２人以下	46	92.0	38	76.0
３人～５人以下	4	8.0	11	22.0
６人～10人以下	0	0.0	1	2.0
合　　計	50	100.0	50	100.0

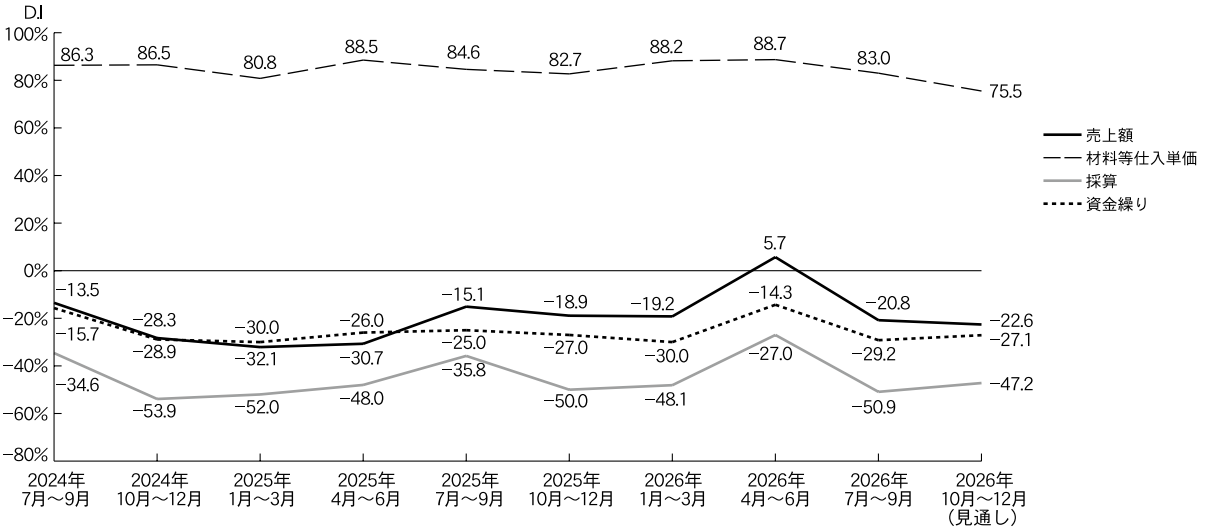
5. サービス業の動向

（1）景　況　概　観

売上額ＤＩは、前期の大幅改善から一転し、今期▲20.8と前期比で26.5ポイント大幅悪化となり、来期は▲22.6へ僅かに悪化の見通し。**材料等仕入単価ＤＩ**は、83.0と前期比で5.7ポイント下降（改善）し、来期も75.5へ下降（改善）の見通し。**採算ＤＩ**は、▲50.9と前期比で23.9ポイント大きく悪化したが、来期は▲47.2へ若干改善の見通し。**資金繰りＤＩ**も、今期▲29.2と前期比で14.9ポイント悪化したが、来期は▲27.1へ改善の見通しである。

今期は材料等仕入単価ＤＩのみが改善し、売上額ＤＩ、採算ＤＩ、資金繰りＤＩは悪化した。来期は材料等仕入単価ＤＩ、採算ＤＩ、資金繰りＤＩが改善の見通しで、売上額ＤＩが悪化の見通しである。

山梨県　サービス業　　主要景況項目の推移－前年同期比－



（2）主な項目でみる業況

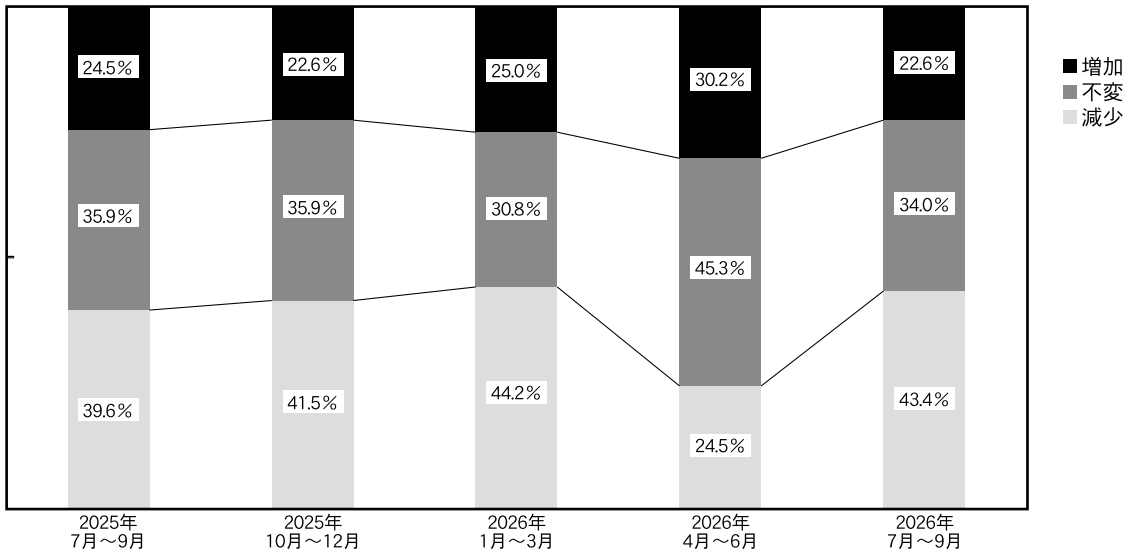
① 売上額（売上額ＤＩの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、22.6％（12社）に減少（前期比▲４社）している。

「不変」は34.0％（18社）に減少（前期比▲６社）し、

「減少」は43.4％（23社）に増加（前期比＋10社）している。

山梨県　サービス業　　売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算ＤＩの内容（回答企業数53社（前回52社）））

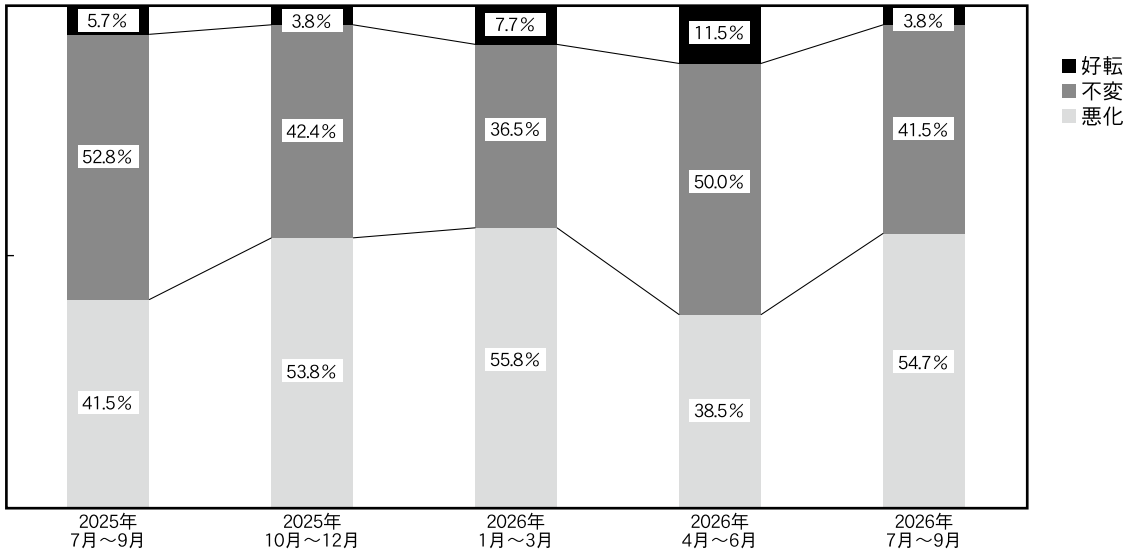
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.8％（２社）に減少（前期比▲４社）している。

「不変」は41.5％（22社）に減少（前期比▲４社）し、

「悪化」は54.7％（29社）に増加（前期比＋９社）している。

山梨県　サービス業　　採算の状況－前年同期比－

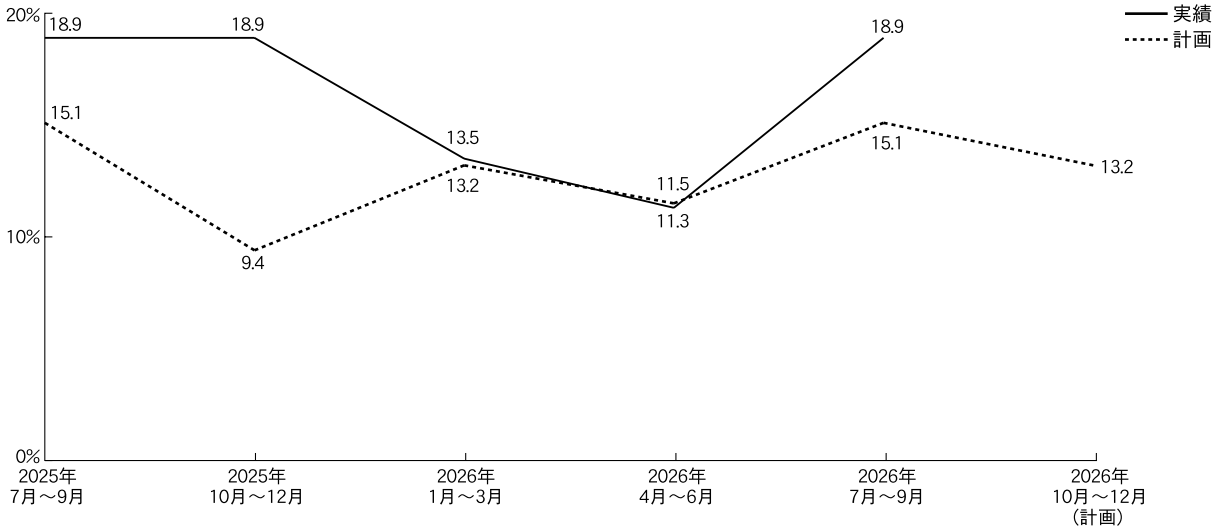


③ 設備投資（直近１年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.9％（10社）であった。その設備投資の内容は、「付帯施設」が５件、「その他」が２件、「建物」「車両・運搬具」「ＯＡ機器」が１件ずつであった。

来期の計画については、13.2％（７社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「付帯施設」が３件、「サービス」が２件、「建物」「車両・運搬具」「ＯＡ機器」「その他」が１件ずつになる。

山梨県　サービス業　　設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

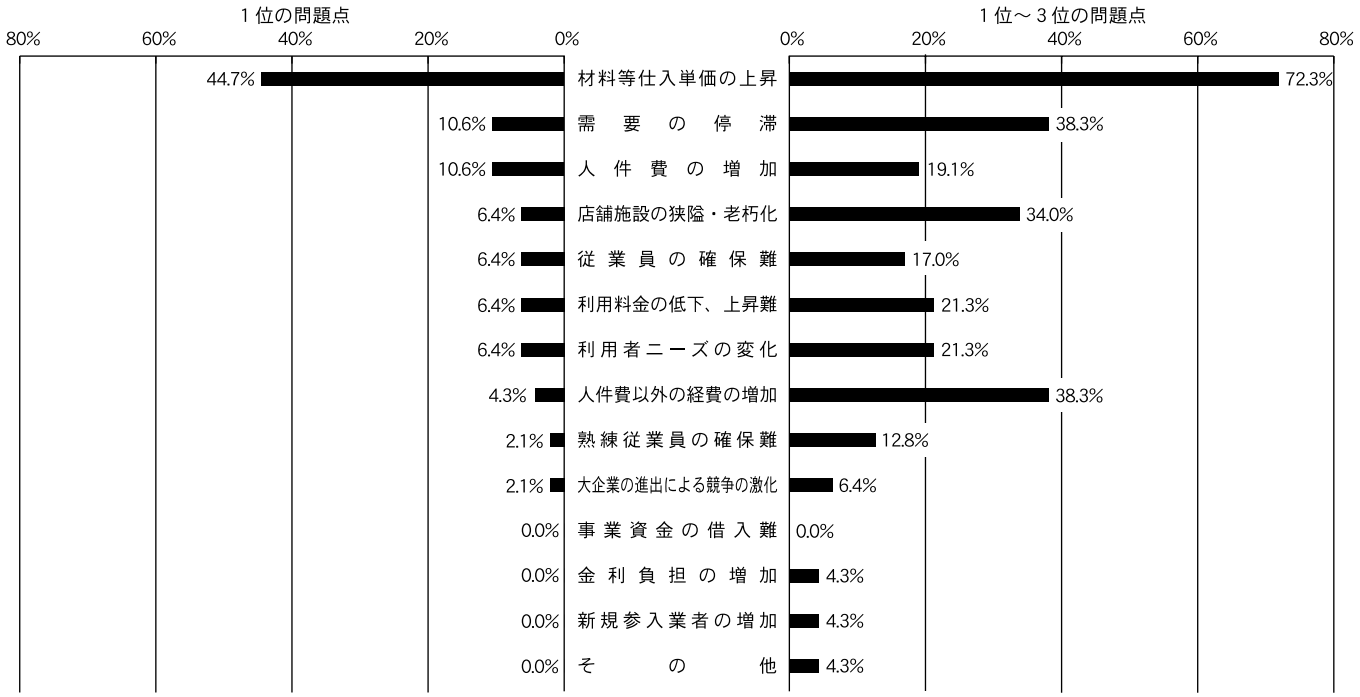
まず、経営上の問題点として、「１位」に挙げられたものからみていく。

１番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の44.7％（21社）で、16期連続。２番目は「需要の停滞」「人件費の増加」が同率の10.6％（５社）であった。

次に、「１位～３位」に挙げられたものをみる。

こちらも、１番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」の72.3％（24社）であり、２番目は「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」が同率の38.3％（18社）であった。

山梨県　サービス業　　経営上の問題点



⑤　回答企業の内訳

業種別

業　　種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	20	37.8
宿泊業	6	11.3
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合　　計	53	100.0

従業員規模別

雇用形態 ＼ 従業員数	常　雇　い		臨時等含む	
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
２人以下	44	83.0	39	73.5
３人～５人以下	8	15.1	8	15.1
６人～10人以下	0	0.0	3	5.7
11人～20人以下	1	1.9	3	5.7
合　　計	53	100.0	53	100.0